

地方独立行政法人那覇市立病院

平成28事業年度の業務実績に関する評価結果

平成29年 8月

地方独立行政法人那覇市立病院評価委員会

## ○年度評価の方法

本評価委員会において、地方独立行政法人那覇市立病院の平成28事業年度に係る業務実績に関する評価を行った。

(評価の基本方針)

- (1) 評価は、中期目標・中期計画の達成状況等を踏まえ、法人の業務運営等について多面的な観点から総合的に評価を行い、評価を通じて法人の継続的な質的向上に資するものとする。
- (2) 評価を通じて、法人の中期目標・中期計画の達成に向けた取組状況を市民に分かりやすく示すものとする。

評価は、項目別評価と全体評価を行い、項目別評価では、法人による自己評価をもとに、業務実績に関する法人からのヒヤリング等を通じて、法人による自己評価の妥当性や年度計画に照らし合わせた達成状況を確認した。また全体評価では項目別評価結果等を踏まえつつ、年度計画及び中期計画の進捗状況について総合的な評価を行った。

なお、平成28事業年度の評価にあたっては、昨年度に指摘・要望等を行った項目について、改善状況等を確認した。

## ○地方独立行政法人那覇市立病院平成28事業年度の業務実績に関する評価結果

### 第1 全体評価

#### 1 評価結果と判断理由

平成28事業年度の業務実績に関する評価については、2ページ以降に示すように、「市民に提供するサービスその他の業務の質に関する目標を達成するためとるべき措置」の大項目評価について「A評価」（中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる。）、「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」及び「財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置」の2つの大項目評価について、「C評価」（中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。）がそれぞれ妥当と判断した。さらに2の全体評価にあたって論点となった事項などを総合的に考慮した結果、平成28年度の業務実績については、全体としておおむね中期計画及び年度計画のとおり進捗していると判断した。

#### 2 全体評価に当たって論点となった事項

3つの大項目のうち第1の市民に提供するサービスその他の業務の質に関する目標を達成するためとるべき措置においては、365日、24時間体制で患者の受け入れを行ったこと、緊急時における医療支援として、平成28年4月熊本地震被災地へDMATチームを派遣したこと、地域医療機関との連携を示す紹介率、逆紹介率ともに

向上させ、地域の医療機関との連携が更に定着していること、受診者の利便性向上として、近年増加している外国人旅行者の受診に対応するため、多言語通訳システムを急病センター、総合案内へ導入したことを取り組みの良い項目として整理した。

第2の業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置においては、後発医薬品の採用見直しを行い、使用率目標値を大幅に上回って達成したこと、医療機器の必要度、優先度を精査して購入した結果、費用が縮減されたことを取り組みの良い項目として整理した。

また、事務スタッフの学会参加数等が前年より減少しており、改善の必要があることを努力を要する項目として整理した。

第3の財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置においては、医師及び職員一体となってレセプトチェックを行い、診療報酬請求を行った結果査定率が全国平均に比べ大幅に低い値を維持したこと、未収金の未然防止対策と早期回収に努めたこと、病床稼働率が目標及び前年実績を上回り、その結果、医業収益をアップさせたこと、収支改善の指標において、目標及び前年実績を上回り、収益確保への取り組みを実現していることを取り組みの良い項目として整理した。

また、高度医療機器の稼働率が前年より減少しており、改善の必要があることから、努力を要する項目として整理した。

## 第2 大項目評価

1 市民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 評価結果

「A評価」(中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる。)

(2) 判断理由

小項目評価結果の集計結果(<第1表 大項目の評価方法>及び<第2表小項目評価の集計結果>参照)で「A評価」(中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる。)となる。

その中でも、365日、24時間体制で患者の受け入れを行ったこと、地域医療機関との連携を示す紹介率、逆紹介率ともに向上させ、地域の医療機関との連携を更に強化していること等の6項目を評価Ⅳとした。

地域の医療機関と連携して、夜間・休日の医師等を確保し、常時小児科を配置した救急医療体制を維持していること、地域がん診療連携拠点病院として、外来化学療法の更なる充実を図ったこと、認定看護師の育成、看護師の質の向上に努めていること等その他33項目を評価Ⅲとした。

評価対象の39項目全てが評価Ⅲ以上であったため、「A評価」とした。

注：上記の項目数は、ウエイト考慮後の項目数である。(以下同じ)

【大項目評価の主な概要及び論点となった事項】（詳細再掲）

（注：（ ）は小項目の番号を、[ ]は評価のウェイトを表す。以下同じ。）

- ① 地域の医療機関と連携して、夜間・休日の医師等を確保し、365日24時間救急医療体制の維持・充実を図る。『（1） [2]』

（意見等）

365日、24時間救急医療体制を維持するとともに、2階北病棟に10床確保したことにより、救急車受入率が上昇した。「たらい回しのない救急医療」への貢献を十分に果たしていると評価できる。

- ② 小児・周産期医療の充実『（2） [2]』

（意見等）

常時小児科医を配置した救急体制を維持した。小児外来患者数等が減少したものの、NICU入院患者増、及び、NICU病床稼働率97.7%は小児・周産期医療の充実に貢献していると評価できる。今後とも努力していただきたい。

- ③ 地域の中核的急性期病院として、優秀な医療スタッフの確保に努めるとともに、がん治療やその他の高度医療を充実するため、医師等の増員とスキルアップを図る。『（4） [2]』

（意見等）

主な手術件数は、対前年で増加している。今後も医師確保に努め高度医療の充実を図られたい。

- ④ 沖縄県がん診療連携拠点病院との連携を強化し、がん診療連携パスの利用を促進する。『（6） [2]』

（意見等）

外来化学療法 of 患者数が増加したことは評価できる。

- ⑤ 地域医療支援病院として地域完結型医療を目指し、地域での役割分担、機能分化をより一層推進する。『（10） [2]』

（意見等）

紹介率及び逆紹介率が向上する等、地域の医療機関との連携が更に定着している。引き続き連携促進に努められたい。

- ⑥ 地域連携パスの利用を促進し、地域医療機関との連携の充実に努める。

『（11） [2]』

（意見等）

急性心筋梗塞パスや大腿骨頸部骨折パスの大幅な減少については、診療報酬改定や県医師会システム中断の外的要因によるものであることから、今後も地域連携パスの利用促進に努められたい。

- ⑦ 安心・安全で良質な医療を提供するため、院内感染防止対策委員会を開催し、院内感染対策の充実を図る。また、他施設との合同カンファレンスや相互チェック及び病棟ラウンドを強化する等、院内感染対策を徹底する。『（21） [2]』

（意見等）

安心・安全で良質な医療を提供するため、院内感染対策の改善策が図られている。今後も充実に努められたい。

<第1表 大項目の評価方法>

大項目評価は、小項目評価の結果、特記事項の記載内容等を考慮し、大項目ごとに中期目標・中期計画の達成に向けた進捗状況について、次の5段階により評価する。(地方独立行政法人那覇市立病院の年度評価実施要領3(3))

S: 中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。

(評価委員会が特に認める場合)

A: 中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる。

(すべての小項目がⅢ～Ⅴ)

B: 中期目標・中期計画の達成に向けておおむね計画どおり進んでいる。

(小項目についてⅢ～Ⅴの割合が9割以上)

C: 中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。

(小項目についてⅢ～Ⅴの割合が9割未満)

D: 中期目標・中期計画の達成のためには重大な改善事項がある。

(評価委員会が特に認める場合)

<第2表 小項目評価の集計結果>

ウエイトを考慮した39項目のうち39項目全てが小項目評価のⅢ以上に該当していることから、小項目評価の集計の結果、「A評価」(中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる)となる。

| 分野                    | 評価対象<br>項目数 | I (計画を<br>大幅に下<br>回っている) | II (計画を<br>十分に実<br>施できて<br>ない) | III (計画を<br>順調に実<br>施してい<br>る) | IV (計画を<br>上回って<br>実施して<br>いる) | V (計画を大<br>幅に上回っ<br>て実施して<br>いる) |
|-----------------------|-------------|--------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| 市立病院と<br>しての役割<br>の発揮 | 3 (2)       |                          |                                | 1 (1)                          | 2 (1)                          |                                  |
| 診療機能の<br>充実           | 21 (5)      |                          |                                | 20 (4)                         | 1 (1)                          |                                  |
| 患者サービ<br>スの向上         | 8           |                          |                                | 7                              | 1                              |                                  |
| 合計                    | 32          |                          |                                | 28                             | 4                              |                                  |
| ウエイト考<br>慮後の合<br>計    | 39          |                          |                                | 33                             | 6                              |                                  |

注：( ) は、ウエイト付けした項目数である。

## 2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

### (1) 評価結果

「C評価」（中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。）

### (2) 判断理由

小項目評価結果の集計結果（＜第3表小項目評価の集計結果＞参照）では、「C評価」（中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。）となっている。

その中でも、後発医薬品の採用見直しを行い、使用率目標値を大幅に上回って達成したこと、医療機器の必要度、優先度を精査して購入した結果、費用が縮減されたことの2項目を評価Ⅳとした。

3項目を評価Ⅲとした。

事務スタッフの学会参加数等が前年より減少しており、改善の必要があることで、事務スタッフの向上に関する項目を評価Ⅱとした。

以上のように対象の6項目中評価Ⅲ以上が5項目であり、割合が9割未満であることから「C評価」とした。

### 【大項目評価の主な概要及び論点となった事項】（詳細再掲）

- ① 学会参加、学会発表を推進し、専門資格取得を支援する。『(34) [1]』（意見等）

学会参加数等が前年より減少している。事務スタッフ数に比して参加者が少ないので、改善されたい。

<第3表 小項目評価の集計結果>

6項目のうち5項目が小項目評価のⅢ～Ⅳに該当しているが、すべての項目がⅢ以上でないことにより、小項目評価の集計では、C評価（中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。）となる。

| 分野                        | 評価対象<br>項目数 | I（計画を<br>大幅に下<br>回っている） | II（計画を<br>十分に実<br>施できて<br>ない） | III（計画を<br>順調に実<br>施してい<br>る） | IV（計画を<br>上回って<br>実施して<br>いる） | V（計画を<br>大幅に上<br>回って実<br>施してい<br>る） |
|---------------------------|-------------|-------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|
| 事務ス<br>タッフの専<br>門性の向<br>上 | 2           |                         | 1                             | 1                             |                               |                                     |
| 予算執行<br>の弾力化<br>と費用節<br>減 | 4           |                         |                               | 2                             | 2                             |                                     |
| 合 計                       | 6           |                         | 1                             | 3                             | 2                             |                                     |
| ウエイト<br>考慮後の<br>合 計       | 6           |                         | 1                             | 3                             | 2                             |                                     |

### 3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

#### (1) 評価結果

「C評価」(中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。)

#### (2) 判断理由

小項目評価結果の集計結果(＜第4表小項目評価の集計結果＞参照)では、「C評価」(中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。)となっている。

その中でも、医師及び職員一体となってレセプトチェックを行い、診療報酬請求を行った結果、査定率が全国平均に比べ大幅に低い値を維持したこと及び未収金の未然防止対策と早期回収に努めたことの1項目を評価Ⅴとし、病床稼働率が目標及び前年実績を上回り、その結果、医業収益をアップさせたこと、収支改善の指標において、目標及び前年実績を上回り、収益確保への取り組みを実現していることの2項目を評価Ⅳとした。

1項目を評価Ⅲとした。

高度医療機器の稼働率が前年より減少しており、改善の必要があることで、1項目を評価Ⅱとした。

以上のように対象の5項目中評価Ⅲ以上が4項目であり、割合が9割未満であることから「C評価」とした。

#### 【大項目評価の主な概要及び論点となった事項】(詳細再掲)

- ① DPC/PDPSの機能評価係数の内容を検討し係数を高める対策を行う。

『(41)[2]』

(意見等)

DPC/PDPSの機能評価係数がアップし、全国ランキング上位を維持したことは評価できる。今後も機能評価係数を高めるよう努められたい。

- ② 診療報酬の請求漏れや減点を防止するとともに、未収金の未然防止策と早期回収に努める。『(42)[2]』

(意見等)

職員一体となってレセプトチェックを行った結果、査定率を前年度と比較して約半減とし、全国平均に比べ大幅に低い値を維持しており、評価できる。

- ③ 経常収支比率と医業収支比率について数値目標を設定する。『(43)[2]』

(意見等)

経営収支比率・医業収支比率共に、前年度実績を上回り、収支改善の努力は評価できる。引き続き努力していただきたい。



<第4表 小項目評価の集計結果>

8項目のうち7項目が小項目評価のⅢ～Ⅳに該当しているが、すべての項目がⅢ以上でないことにより、小項目評価の集計では、C評価（中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。）となる。

| 分野                  | 評価対象<br>項目数 | I（計画を<br>大幅に下<br>回っている） | II（計画を<br>十分に実<br>施できて<br>ない） | Ⅲ（計画を<br>順調に実<br>施してい<br>る） | IV（計画を<br>上回って<br>実施して<br>いる） | V（計画を<br>大幅に上<br>回って実<br>施してい<br>る） |
|---------------------|-------------|-------------------------|-------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|
| 経営機能<br>の強化         | 5（3）        |                         | 1                             | 1（1）                        | 2（1）                          | 1（1）                                |
| 合 計                 | 5           |                         | 1                             | 1                           | 2                             | 1                                   |
| ウエイト<br>考慮後の<br>合 計 | 8           |                         | 1                             | 2                           | 3                             | 2                                   |